令和8年一・二番茶情勢について

令和８年６月１日現在
ＪＡ静岡経済連　茶業課

【 一番茶 】

1　生産状況

（１）一部でてん茶生産を残す産地もありますが、５月末で概ね終了となりました。

（２）てん茶への生産転換が県下全域で活発化し、前年数量を上回るてん茶が生産されました。

（３）県下荒茶生産量は、少なかった前年（8,120ｔ）の 130～140％程度を見込みます。面積の増減や生葉の受入れ状況など工場間格差があり、前年比のバラツキが見られます。

2　流通状況

（１）茶期前の茶商在庫は適正範囲で、積極的な仕入れ姿勢のなか取引は進みました。

（２）3,000 円台では下げ基調が続く厳しい時期もありましたが、てん茶への生産転換が進み、供給量の分散が図れたことから堅調な取引が維持されました。

（３）有機・慣行ともにてん茶の引き合いは非常に強く、特に輸出向け製品の引き合いが強い状況でした。輸出向け防除が有利販売につながっています。

（４）全ての茶種が前年を上回る価格での取引となり、県下荒茶平均価格は前年（2,218 円）の 150％程度を見込みます。本茶の最終価格は 2,000 円台前半でした（前年 1,300 円前後)。

（５）㈱静岡茶市場では電子入札システム導入による新たな相場形成の取組みが実践され、価格向上に寄与しました。一番茶取引での課題を整理し、今後の取引改善につなげることとしています。

3　静岡茶市場及び鹿児島茶市場の取扱状況　　（単位：kg・円・％）

項　目		令和８年(６/１現在)		令和７年最終		前年比	
		数量	単価	数量	単価	数量	単価
静岡茶市場	県内産	676,897	3,667	475,456	2,187	142.4	167.7
	(内入札)	48,280	7,292	―	―	―	―
	県外産	310,468	4,517	254,111	2,349	122.2	192.3
鹿児島茶市場		1,969,498	4,063	2,189,078	2,260	90.0	179.7

＊鹿児島茶市場は、4/6～5/27 までの数値（前年は 4/9～5/28)。

【 二番茶 】

1　生産状況

（１）早場所の一部工場では５月 30 日頃から生産が開始されました。６月 10 日頃から県下で摘採範囲が広がる見込みです。

（２）昨夏の高温・干ばつや、本年の一番茶の増産による茶樹への影響を鑑み、一番茶後の更新面積は前年を上回る見込みです。

2　流通状況

（１）茶商の下物在庫は少なく、ドリンク原料を中心に数量確保の動きが強まっています。

（２）一番茶の反収増加が二番茶の反収に影響する可能性から二番茶の引き合いはかなり強まる見込みです。

3　その他

（１）静岡県農協荒茶共販委員会では、５月 27 日二番茶生産販売対策を作成しました。求められる品質を確保し、積極的な二番茶生産を呼び掛けています。

㈱静岡茶市場情報（６月１日現在）

鹿児島県種子島産の二番茶が生産のピークを迎え、価格は 2,200～1,800 円、本土物（えい）は５月 26 日に初入荷し、被覆茶が 3,000 円以上、露地物で 2,500 円以上のスタートとなり、引き合いの強い状況です。県外茶は今週より二番茶取引が本格化してきます。

以　上